

科目名	西洋経済史	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群	
			経済学部	□ 必修 ■ 選択
英文表記	History of Western Economies	開講年次	□ 1年 □ 2年 ■ 3年 □ 4年	
			開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中
ふりがな	さかもと こういち	実務家教員担当科目	修得単位	2単位
担当者名	坂元 浩一	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用	
授業のテーマ	欧州を中心とした経済の歴史を学ぶ			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 欧州経済の歴史を十分に理解できるようになります。 2. 主要国の経済の発展を知ることができます。 3. 欧州経済に関する新聞や雑誌のニュースを読めるようになります。			
授業概要	欧州を中心として、古代から近代までの経済の歴史を学びます。歴史の現代的意義を論じます。必要に応じて、米州経済や途上国経済も取り上げます。経済を取り巻く社会、政治の状況も補完的に説明します。身近な商品や企業を取り上げて、関心を持ってもらいます。			
授業計画				
第1回	イントロダクション (アプローチ)			
第2回	ローマ帝国以前			
第3回	ローマ帝国			
第4回	中世 (宗教社会)			
第5回	中世 (経済)			
第6回	大航海時代			
第7回	宗教改革			
第8回	絶対王政			
第9回	社会主義と革命			
第10回	産業革命			
第11回	第1次世界大戦まで			
第12回	世界恐慌			
第13回	第2次世界大戦後			
第14回	EU 経済			
第15回	国際化における欧州経済			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)			

履修条件 受講のルール	なし
テキスト	なし
参考文献・資料	奥西孝至ほか『西洋経済史』有斐閣アルマ、2010年。 高屋定美編著『EU経済』ミネルヴァ書房、2010年。 田中友義『EU経済論』中央経済社、2009年。 坂元浩一『教養系の国際経済論—総理解から次の一歩まで—』(電子書籍)大学教育出版、2012年。 坂元浩一『世界金融危機—歴史とフィールドからの検証—』大学教育出版、2010年。
成績評価の方法	【レポート・小テスト(40%)、定期試験(60%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席確認時に不在だった場合は、原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解および予習・復習が充分であるかを確認するため、授業中にミニ・テストを行うことがあります。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	火曜日、木曜日 15時～16時
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	現在なお世界をリードする欧州の基礎を理解しましょう。身近な商品や企業も取り上げます。